

株主の皆様へ

上半期は利益面で不採算プロジェクトの影響を残したものの、 拡大するICT投資の需要を捉え、通期増収増益を目指します。

株主の皆様には、日ごろより温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。当社グループ第55期第2四半期(2022年2月1日～2022年7月31日)の事業概況につきまして、以下にご報告申し上げます。

当上半期の日本経済は、新型コロナウイルスの感染症対策を講じながら経済社会活動の正常化を推し進め、景気は緩やかに持ち直してまいりました。一方で、金融市場の変動や原材料価格の上昇、供給面での制約など先行き不透明な状況が続いています。情報サービス産業においては、DX(デジタルトランスフォーメーション)関連の需要が引き続き旺盛であるとともに、社会全体のデジタル化が進む中で、サイバー空間における脅威が増大し、セキュリティ対策の需要が高まりました。

このような情勢下、当社グループは「サステナブルな社会の実現」と「持続的成長」を目指し、事業活動を通じた社

会課題・産業課題の解決に取り組んでまいりました。

これらの結果、当上半期業績は、売上高においては234億7千8百万円(前年同期比4.6%増)と計画どおり推移しました。一方で、利益面においては前期に発生した不採算プロジェクトの追加受注損失引当金計上の影響により、営業利益は19億6千9百万円(前年同期比11.3%減)、経常利益は19億8千8百万円(前年同期比11.6%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益においては、投資有価証券売却益を特別利益に計上したことにより、34億9千5百万円(前年同期比127.5%増)となりました。なお、中間配当につきましては、今回の一時的な増益要因などを包括的に考慮し、特別配当として1株につき5円増配の25円とさせていただきます。

株主の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ESG Environment～地球環境・気候変動への取り組み～

シーイーシーグループは、ICTで社会や産業の課題解決に取り組むとともに、ESG(環境・社会・ガバナンス)活動を推進し、サステナブルな未来創りに貢献します。

●TCFD提言に賛同

2022年4月、当社は気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言に賛同しました。深刻化する気候変動問題を、社会課題であると同時に重要な経営課題のひとつと捉え、TCFDの枠組みに沿った情報開示を進め、脱炭素社会の実現に取り組めます。



あわせて、首都圏で取得した環境マネジメントシステムISO14001認証の全社取得を目指すなど、環境経営を推進しています。



中期経営計画を確実に遂行し、再成長路線へと舵を切ってまいります。

代表取締役社長 大石 仁史

2023年1月期第2四半期連結業績

売上高	234億78百万円
営業利益	19億69百万円
経常利益	19億88百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	34億95百万円
1株当たり中間配当金	25円

上半期の活動状況について

今期より、当社グループは持続的成長とサステナブルな社会の実現を目指した、3か年の中期経営計画をスタートしました。当上半期では、事業力強化に向けて、組織を再編するとともに、採用活動の強化や技術・資格取得を推進し、人材・技術力の拡充に取り組みました。また、ESG経営の実現に向け、監査等委員会をはじめ各種委員会を設置するなど、経営基盤やコーポレート・ガバナンスの強化を図りました。

業績については、残念ながら不採算プロジェクトの影響で期初の利益目標を下方修正いたしました。デジタルインダストリー事業、サービスインテグレーション事業ともに事業環境は着実に回復しています。主力事業では、前期伸び悩んだ中部・西日本地区の顧客のICT投資が改善されたほか、DXに関連するシステム開発事業が好調を維持しました。また、注力事業全般が計画通りに伸長し業績に寄与しました。

下半期の取り組みについて

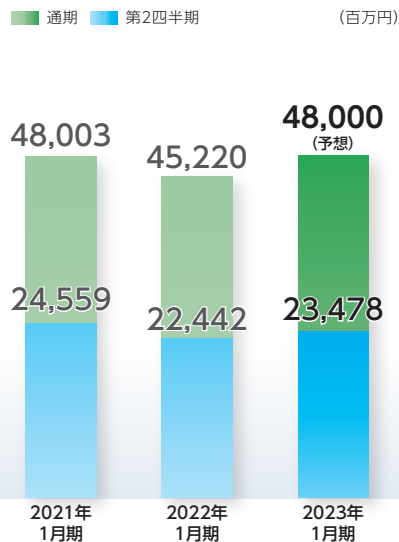
依然として景気の下振れリスクは残るものの、企業のICT投資需要はさらなる増加が期待されます。当社グループにおいても、受注高・受注残高ともに前年同期を上回り、好調に推移しています。下半期は、まずは不採算プロジェクトの収束に努め、収益の改善を図ります。また、物流業務の効率化によるCO₂削減やサイバーセキュリティへの対応など、事業を通じた社会貢献にも注力してまいります。

中期経営計画の初年度である今期は、再成長路線への回帰の年と位置づけ、確実に増収増益の目標を達成するとともに、事業・経営の変革を図り、「ICT技術で未来を創る企業」へと舵を切ってまいります。

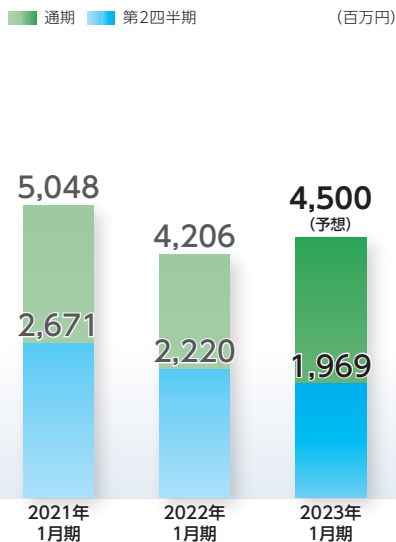
2023年1月期通期連結業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり年間 配当予想
480億円	45億円	45.4億円	52億円	45円

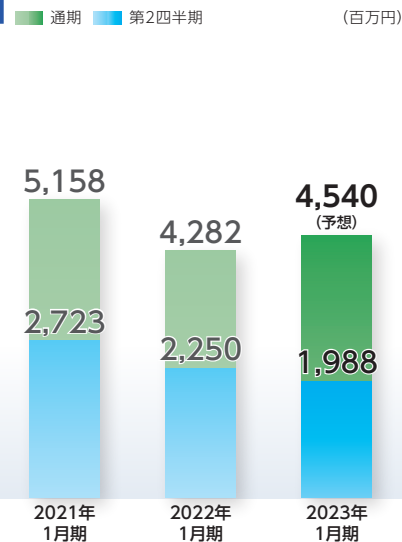
売上高



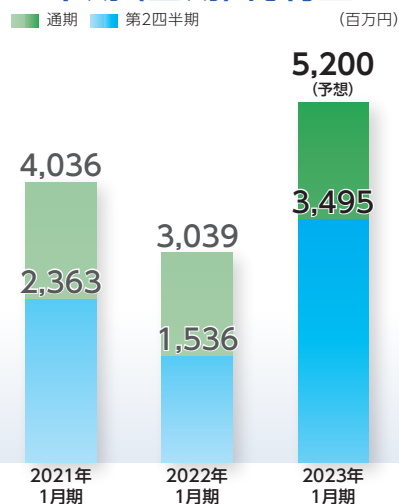
営業利益



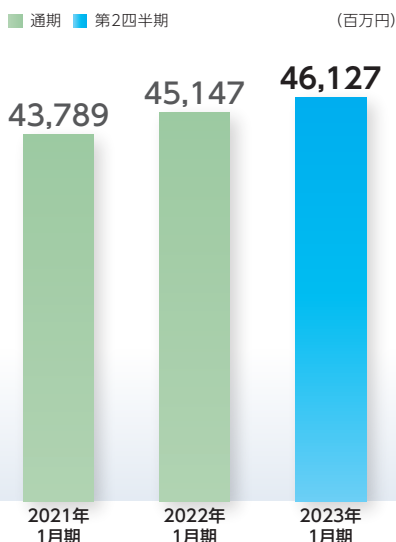
経常利益



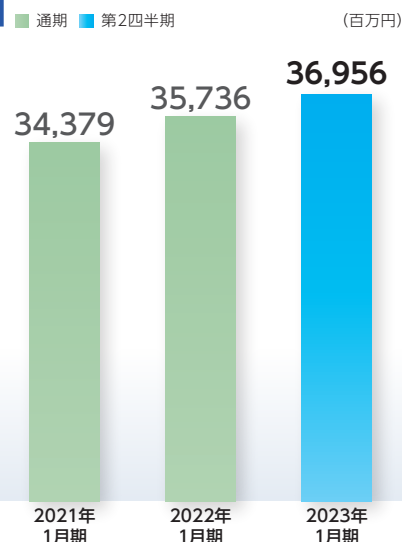
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



総資産

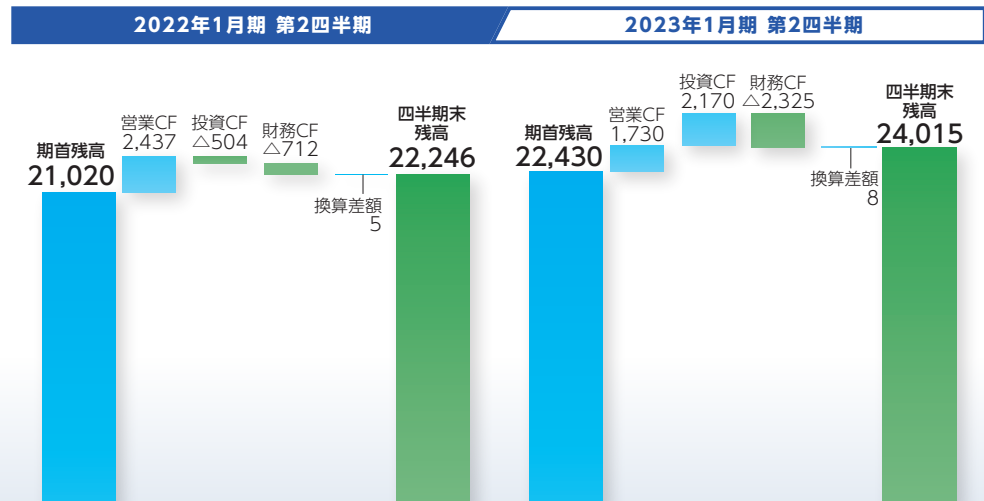



純資産



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)

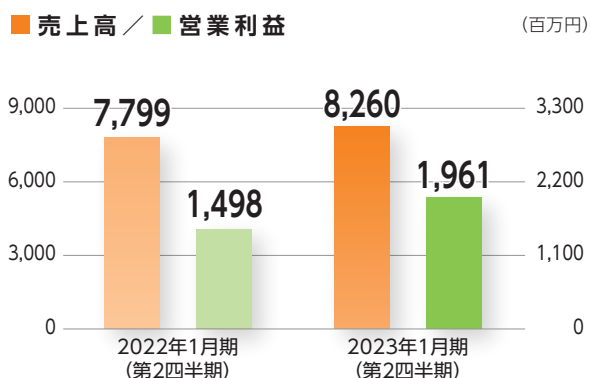



 詳細な財務情報は
 当社ホームページ
 で公開している決算短信
 をご覧ください。

<https://www.cec-ltd.co.jp/ir/>



売上高 82億6千万円 (前年同期比 5.9%増)
営業利益 19億6千1百万円 (前年同期比 30.9%増)



事業の進捗状況

製造業の生産性・品質向上をICTで支援する本事業分野では、顧客のICT投資再開に伴い事業環境が回復、展開する事業全般が堅調に推移し増収増益となりました。注力事業の構成比が高いスマートファクトリー事業やコネクティッドサービス事業は、一部の商談で半導体不足による延伸等があったものの、システム開発事業が活性化し業績は堅調に推移しました。また、主力事業の構成比が高い中部地区や西日本地区では、ICT投資の回復を背景にシステム開発事業が好調に推移し、業績の伸長に貢献しました。製造業においては、原材料の高騰など先行き不透明感はあるものの、ICT投資意欲は旺盛な状況が続くものと予想されます。

今後の取り組み

- 「音」判定に特化したテスト自動化ツール「SimuField®-AS (シムフィールド-エーエス)」の機能強化・営業推進
- 物流業務の生産性向上を支援する「LogiPull® (ロジプル)」のサービス拡充および販売促進
- 注力事業である「生産・物流ソリューション」・「モビリティサービス」の営業推進

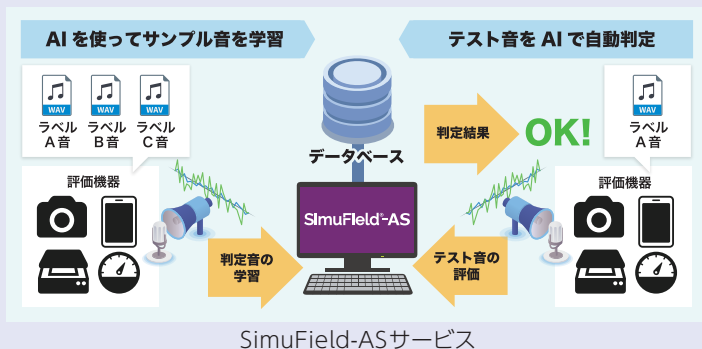
AI技術を活用した「音」判定で、製品検査を効率化・省力化する「SimuField-AS」の提供開始

◆概要

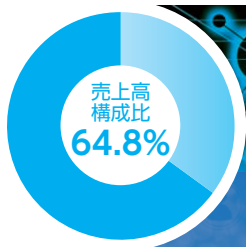
製品検査の工程で自動化が難しかった「音」による判定を、当社が独自に開発したAI技術を活用することで、自動化を実現。人手によるテスト作業の負荷低減と製品の品質向上に貢献します。

◆特長

- 音に特化した独自のAI技術を活用し、少ないサンプルでノイズのある音声も精緻に判定
- 機器音声特有のさまざまなレベルの音を判定可能
- 企業が導入済みの自動評価システムと連携可能



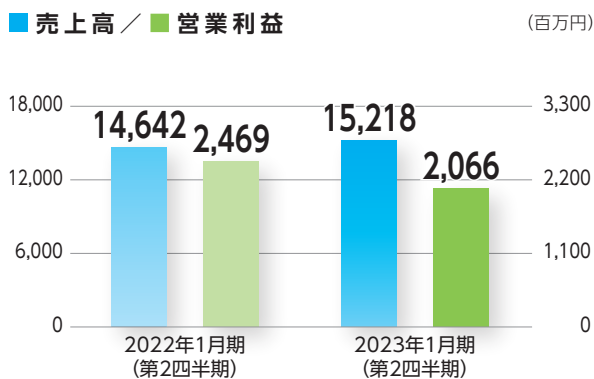
SimuField-ASサービス



サービスインテグレーション事業 Service Integration

売上高 152億1千8百万円 (前年同期比 3.9%増)

営業利益 20億6千6百万円 (前年同期比 16.3%減)



事業の進捗状況

顧客の事業発展や業務効率化をICTで支援する本事業分野では、活発な投資が続くシステム開発事業や、セキュリティ事業が好調に推移し増収となりましたが、利益面では不採算プロジェクトの影響により減益となりました。注力事業のマイクロソフト連携サービスやマイグレーションサービスは、官民で活性化するDX推進を背景に事業を拡大しました。インフラ構築事業では、半導体不足によるサーバーやネットワーク機器の納期遅延等が続いている一方、デジタル化推進に伴うリスク対策として、注力事業であるセキュリティサービスへの需要が活性化しています。今後も、部材の供給不足リスクは残るものの、DXの加速やセキュリティ強化への投資は活発化が見込まれます。

今後の取り組み

- ゼロトラストセキュリティソリューションを含む「Cyber NEXT® (サイバーネクスト)」の販売促進
- マイグレーションサービス「Re@nove® (リノーブ)」のサービス拡充および販売促進
- 日本マイクロソフト社との連携を強化し、DX関連ビジネスのサービス強化

クラウドサービスやリモートワークのセキュリティ対策に特化 「Cyber NEXT ゼロトラスト*セキュリティソリューション」の提供開始

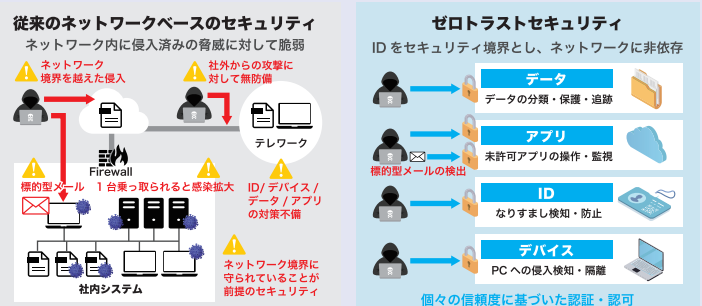
◆概要

企業や行政機関の情報資産を守るセキュリティソリューションです。当社独自の認証基盤を提供することで、すでに導入されているセキュリティ対策を維持しながら、ゼロトラストセキュリティ環境を実現します。

◆特長

- 自社開発のUEBA機能(ユーザーとエンティティの行動分析)で、不自然なユーザー挙動や予兆を検知
- 24時間365日の有人管理体制で、ICT環境を監視
- セキュリティライフサイクルに沿った「課題整理」「設計・導入」「運用・保守」を支援

*ゼロトラスト: 「何も信頼しない」を前提に、社内外問わず全ての通信に対して安全性の検証など対策を講じるセキュリティモデル



従来型セキュリティとゼロトラストセキュリティ

会社の概要 (2022年7月31日現在)

商号 株式会社 **シーイーシー**
Computer Engineering & Consulting Ltd.

設立 1968年2月24日

資本金 65億8千6百万円

従業員数 単体1,536名 / 連結2,239名

主なグループ会社

社名	事業内容
フォーサイトシステム株式会社	システム開発、構築、保守ならびに運用サービス
株式会社イーセクター	セキュリティソリューションサービスおよびパッケージ販売
株式会社シーイーシーカスタマサービス	システム構築、ICT導入支援および運用サービス
大分シーイーシー株式会社	システム開発サービス
希意禧(上海)情報システム有限公司	パッケージ導入サービス
株式会社コムスタッフ	人材派遣サービス

役員および執行役員

代表取締役社長	大石 仁史
常務取締役(常務執行役員)	立石 博
常務取締役(常務執行役員)	河野 十四郎
取締役(執行役員)	玉野 正人
取締役(執行役員)	藤原 学
取締役(執行役員)	姫野 貴
取締役(監査等委員)	吉田 浩
社外取締役	中山 眞
社外取締役	大塚 政彦
社外取締役(監査等委員)	仲谷 栄一郎
社外取締役(監査等委員)	谷口 勝則
執行役員	江上 太
執行役員	酒井 靖男
執行役員	大北 敦司
執行役員	高木 英樹
執行役員	柿沼 讓

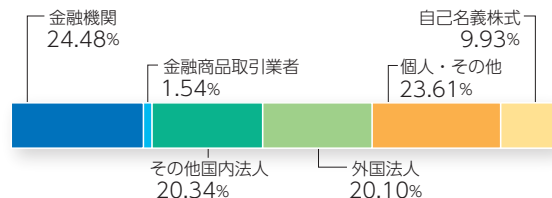
株式の状況 (2022年7月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株

発行済株式総数 37,600,000株

株主数 6,476名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
1 ミツイワ(株)	4,447,200	13.13
2 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,029,100	11.89
3 (株)日本カストディ銀行(信託口)	3,450,400	10.18
4 BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1,670,000	4.93
5 岩崎 宏達	1,335,100	3.94
6 シーイーシー従業員持株会	1,263,500	3.73
7 富士通(株)	1,240,000	3.66
8 日本フォーサイト電子(株)	930,960	2.74
9 BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	516,149	1.52
10 STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS- UNITED KINGDOM	407,100	1.20

(注)持株比率は、自己株式(3,732,660株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 2月1日~翌年1月31日

期末配当金
受領株主確定日 1月31日

中間配当金
受領株主確定日 7月31日

定時株主総会 毎年4月

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 0120-782-031 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場(証券コード9692)

公告方法 電子公告 公告掲載URL <https://www.cec-ltd.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本店でお支払いいたします。



〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南一丁目5番5号 JR恵比寿ビル
TEL.03-5789-2441(代表)
記載の会社名および商品名等は、一般に各社の商標、または登録商標です。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

